

ワクチン接種の際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解し、接種する・しないを判断してください。

新型コロナワクチンについて知ろう!

ワクチンってなあに?

ワクチンを接種すると、体の中で新型コロナウイルスとたたかう仕組み(免疫)ができて、実際にウイルスが体に入ってきたときに、すぐたたかえるように準備します。

新型コロナワクチンを接種すると**約95%**の発症(発熱や咳などの症状)を防ぐ効果が報告されています。(※1) ※1 出典:厚生労働省ホームページ

ワクチンの副反応について

ワクチンを接種すると、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすので、身体の具合が悪くなる場合があります。これを「副反応」といいます。

痛み・腫れ



疲れ

主な副反応

発熱

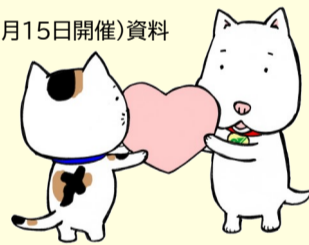
頭痛



吐き気

※ごくまれに、ワクチンを接種した後に軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告(※2)されています(100万人あたり0.0~28.8件)。ワクチンを接種した後に、胸が痛くなったり、息切れなどの症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。 ※2 出典:第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会(令和3年10月15日開催)資料

ワクチンを接種するときに注意が必要な方



ワクチンを接種したいと思っても、病気で治療中の方や重いアレルギー症状がある方など注意が必要な場合があります。不安がある場合は、医療機関でワクチンを接種していいか相談しましょう。

救済制度があります!

【厚生労働省ホームページ】



予防接種では極めてまれではあるものの、健康被害(病気になったり障がいが残ったりすること)が起こることがあり、救済制度が設けられています。

周りの方にワクチン接種を強制したり、ワクチンを接種していない人に差別的な対応をすることはあってはなりません。

ワクチン接種後も今までの感染防止対策を続けよう

もっとワクチンについて知りたい!相談したい!そんなときは...

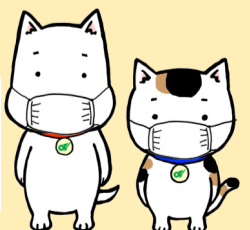
厚生労働省ホームページ



みえ新型コロナウィルスワクチン接種ポータルサイト



みえ新型コロナウィルスワクチン接種ホットライン TEL 059-224-2825



き~ぼう つむぎちゃん

※き~ぼうとつむぎちゃんは 三重県動物愛護推進センター「あすまいる」のマスコットキャラクターです。